

1 月定例記者会見会議録

2020（令和2）年1月6日（月）午後2時～
市役所本庁4階 406 会議室

1. 市長からの発表

あけましておめでとうございます。

本年もよろしく願いいたします。

昨年は、台風や大雨による大規模災害の多い年で、被害にあわれた方達は、今も不便な生活を送られています。今年は穏やかな1年となりますことを願います。

さて、合併して16年目に入っています。

今年は、第2次再生計画も仕上げの年度を迎えます。

そこで、今年の一文字「活」を書きました。地域を元気にしよう。活力ある地域にしよう。生き生き暮らそう。と、いうことで勢いをつけて書いてみました。これが今年の一文字の「活」です。中心市街地活性化の「活」でもあります。

地域づくりは、みんなが頑張らないとできないことで、ガバナンス、いわゆる行政、民間企業、住民組織、個人、全てがそれぞれの力を持ち寄って、生き生きとした地域づくりをしていくことが大切です。また、そういった中でなければできないという時代になってきていると思います。特に、この庁舎で2回目の新年を迎えましたが、中心市街地の活性化を進めることが何よりも大切です。5月以降に「伊賀上野 城下町ホテル」が開業予定ですが、やはり市指定文化財の旧上野市庁舎のリノベーションを一刻も早く進めなければならぬと思っています。

今年は、スポーツの祭典である東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が7月に開催されますし、三重とこわか国体のリハーサル大会も、わがまちでも開催されます。いずれにしても、海外から注目される年でもあるかと思っています。そして、2025年の大阪万博に向けてもインバウンドの獲得、そして、市民の皆さんの果実にもつながり、そのことが周囲にも波及させることで、このまちを活力あるまちにしていきたいと思っています。

今日、私からの発表は3つです。

まず、資料No.1『『住みたい田舎ベストランキング』東海エリア部門総合4位について』です。

1月4日に発売されました宝島社『田舎暮らしの本』2月号、「2020年版 住みたい田舎ベストランキング」の中で、伊賀市が東海エリア総合部門で4位に選ばれました。昨年は5位でしたので、1つ順位を上げました。

なお、三重県内の順位では昨年に引き続き1位。人口10万人未満の自治体「小さなまち部門」では全国総合37位でした。あわせて「若者世代が住みたい田舎部門」で全国30位、「シニア世代が住みたい田舎部門」で全国37位に選ばれました。

東海エリアでは、76.29点で4位となり、近畿エリアでは76点台が5位の綾部市があるため、近畿でも5位くらいになるのかと思います。

230項目のアンケートの中で、移住施策に特に力を入れていることや、若者世代、シニア世代向けの取組が充実していることが評価されたと聞いています。

伊賀市では、平成28年（2016年）4月に県内初となる「移住・交流」の専門部署を

設置し、昨年12月末までに113世帯207人の方が伊賀市へ移住されました。移住された皆さんは、地域に溶け込み、起業されたり、NPO活動をされたり、伝統産業の担い手になられたり、様々な分野で活動されています。

今回、5位から4位となったのも自然環境や、子育て、就労、医療や住環境など、総合的に伊賀市の魅力や各分野の施策が評価された結果であると思います。

人口減少が加速度を増す中、まちの活力を維持し、選ばれる存在であり続けるため、今後もさらに「来たい・住みたい・住み続けたい“伊賀市”」の実現に向けて、ワンチームとなって取組を進めていきたいと考えています。

つづいて、資料No.2「伊賀国上柘植村 いがのくに かみつげむら 并 ならびに 近江国和田・五反田村 おうみのくに わだ こたんだむら 山論関係文書」を県文化財指定とする答申についてです。

伊賀市上野図書館が所蔵する資料が、三重県文化財保護審議会において、県文化財指定として三重県教育委員会へ答申されました。

この資料は、平成28年(2016年)12月に市が購入し、翌年1月の定例記者会見で皆さんに発表させていただいております。天正元年(1573年)に作成された、「伊賀国奉行・甲賀郡奉行 こうがくん れんしよきしよもん 連署起請文」と呼ばれる古文書をはじめ合計9通と つけたり 附7点で、現在の伊賀市柘植町 つげまち と甲賀市甲賀町 こうがちよう との間で起きた境界争いに関するものです。

伊賀国 いがのくに と近江国 おうみのくに の境界の成り立ちを示す良好な資料であるだけでなく、当時の伊賀国が地侍たちの連合により運営されていた「伊賀惣国一揆 いがそうこくいっき」の実態を示す貴重な資料です。

伊賀市上野図書館では、2月の忍者月間に忍者関係資料の企画展示を計画していますが、この古文書も戦国時代の伊賀を知ることができる資料として展示する予定です。

つづいて、資料No.3「令和2年伊賀市消防出初式の開催」についてです。

消防出初式を1月12日(日)午前9時から県立ゆめドームうえので開催します。厳寒の中ではありますが、出初式は、消防職・団員をはじめ、防災関係者の士気を高めることを目的に行います。

今回の出初式は、これまでの実質的に消防職・団員だけの行事となっていた式典のあり方を見直し、広く市民にアピールして楽しんでいただくものとして行います。女性消防団員によるバルーンアートや、はしご車・救助工作車などの消防車両の展示コーナーのほか、子どもの防火衣装着体験 ぼうかい を行い、消防車両との写真撮影を設けるなど、市民が身近に安心・安全を実感できるよう、集い、楽しんでいただけるものとしています。是非、たくさんの方にお越しいただきたいと思います。

発表事項は以上ですが、このたび、スポーツ庁、文化庁、観光庁の3庁が共同で募集しました「スポーツ文化ツーリズムアワード2019」に、「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト会議が「文化ツーリズム賞」に選ばれ、今月15日に、石川県の金沢文化ホールで開催される「第4回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」で表彰を受ける予定です。「忍者

トレイルランニング事業」や「滞在型プログラム事業」など、「忍びの正心である“心技体”を鍛える」をテーマとした体験プログラムづくりが評価されたと伺っています。

県内で初めてということで、大変、名誉で喜ばしいことであり、今後も産学官民連携による観光まちづくりを推進していきたいと考えています。

なお、この件については、1月10日（金）15時より、秘書課 応接室1にて、三重県、日本航空の方々と一緒にあらためて会見をさせていただきます。

主な質疑応答の概要

【「住みたい田舎ベストランキング」東海エリア部門総合4位について】

記者：東海エリアの1位から3位はどちらですか。

市長：1位静岡市 84.75 点、2位中津川市 82.82 点、3位恵那市 79.36 点、4位伊賀市 76.29 点、5位豊田市 76.09 点です。

（6位飛騨市、7位浜松市、8位名張市、9位郡上市、10位藤枝市、11位鳥羽市、12位高山市、13位熊野市、14位沼津市、15位大垣市）

記者：伊賀市のランキング入りは、去年の5位が初めてでしたか。

地域づくり推進課：（年によって）ランキングの付け方が若干変わっています

「全国12エリア別ランキング総合部門 東海エリア」が昨年5位、今年4位です。その前（2018年）は、「若者が住みたい田舎ランキング」で東海エリア5位でした。

【「伊賀国上柘植村并近江国和田・五反田村山論関係文書」を県文化財指定とする答申について】

記者：これまで、市指定文化財から県指定文化財へ登録となった文化財が、全てこのような形で紹介されてはいないのですが、今回の記者会見で発表されたのは何故ですか。

文化財課：県文化財指定の記念として、2月に伊賀市上野図書館で特別展示をさせていただきます。詳細は、あらためて図書館から発表させていただきますが、今回は、「県文化財指定の答申」と「特別展示」について発表をさせていただきました。

三重県でも非常に高く評価をいただいていることを県担当者から伺い、皆さんにお知らせするために、今回発表をさせていただいたところです。

2. 1月の主な行事予定

（1）令和2年成人式の開催

日時 1月12日（日） 受付：午後1時30分～ 開式：午後2時～
場所 9会場
内容 各会場により式典内容異なる
市からのメッセージプレゼンター

担 当 教育委員会事務局生涯学習課（電話 0595-22-9679）

(2) 第 60 回伊賀地区駅伝競走大会の開催

日 時 1月26日（日） 開会：午前8時20分

スタート（全部共通）：午前10時

場 所 三重県立ゆめドームうえの（開会式・閉会式会場）
（伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の4）

内 容 半世紀を超えた伝統ある大会で、今年は第60回の記念大会となります。

担 当 企画振興部スポーツ振興課（電話 0595-22-9635）

(3) 企画展示「西教寺中興の祖 真盛上人」の開催

日 時 1月5日（日）～1月30日（木） 午前9時～午後7時

場 所 伊賀市上野図書館 2階 企画展示コーナー
（伊賀市上野丸之内40番地の5）

内 容 真盛上人に関する図書資料を中心に展示

担 当 伊賀市上野図書館（電話 0595-21-6868）

(4) 伊賀市本庁舎市民ミニギャラリー（1月展示）

日 時 1月6日（月）正午～1月31日（金）正午

午前8時30分～午後5時15分（市役所の開庁時間に準ずる。）

場 所 伊賀市本庁舎4階 市民ミニギャラリー

内 容 もりなかきょうしょう 森中 喬 章 さんの絵画作品 11点

担 当 企画振興部 文化交流課（電話 0595-22-9621）

(5) 2020年1月 寺田市民館「じんけん」パネル展の開催

日 時 1月6日（月）～1月30日（木） 午前9時～午後5時
※平日のみ

※14日（火）・21日（火）は午後7時30分まで延長

場 所 寺田教育集会所 第①学習室（伊賀市寺田225番地）

内 容 「水平社宣言」

担 当 人権生活環境部 同和課 寺田市民館（電話 0595-23-8728）

(6) 2020年1月 いがまち人権パネル展の開催

日 時 1月7日（火）～1月23日（木） 午前9時～午後5時
※平日のみ

※9日（木）、16日（木）は午後7時30分まで延長

場 所 いがまち人権センターホール（伊賀市柘植町8898番地）

内 容 「食品ロスと貧困問題」

担 当 人権生活環境部 同和課 いがまち人権センター（電話 0595-45-4482）

（7）子育て相談広場「にんにんパーク」事業の開催

日 時 1月12日（日）・2月9日（日）午前10時～午前11時30分
場 所 上野南公園「にんにんパーク」内（伊賀市ゆめが丘七丁目13番地）
内 容 1月12日（日）凧あげ大会
2月 9日（日）忍者遊びを楽しもうの巻
担 当 健康福祉部 こども未来課（電話 0595-22-9665）

主な質疑応答の概要

【令和2年成人式の開催について】

記 者：今年の成人式は通常通りでよいと思いますが、再来年の18歳の成人式について、先日、亀山市が20歳の人に「二十歳の集い」という名前で20歳の方を対象に式典をするということを発表されました。例えば、周囲自治体が全て20歳のお祝いをするとなった時、他自治体と対応が違くと混乱をきたさないか心配されますが、18歳でやるべきですか。

市 長：「成人式とは何なのか」と言えば、やはりそれは地域に育てられ、肉親の愛に育てられた人たちが、法律に定められた大人になるということですから、その自覚をしっかりと持ってもらうということ。そして、社会はその成人をしっかりとその一員として迎え入れるということの節目が、本来の成人式の姿であるわけです。何故、その2年間のロスタイムをモラトリアム（一時停止・延期）状態で待たなければいけないのか、その理由は、私にはよく分かりません。今までは、法律に基づいて20歳が成人だった。今度は法律に基づいて18歳が成人になった。だったらそこでしっかりとお互いにその意義を鑑みてそうするのが当然ではないかと思っています。私は、そういう意味では「20歳を祝う」、それは少し違うのではないかと違和感を感じます。

3. その他

主な質疑応答の概要

【市長選挙への出馬について】

記 者：「岡本栄氏が3選目に向けて立候補するのが濃厚」という記事が出ていましたが、いかがですか。

市 長：度々申し上げていますが、しなければならないこと。例えば中心市街地活性化の事業、（旧上野市庁舎）大リノベーションなどが、現段階においては大事なことと認識をしております。

記 者：昨年の6月議会の一般質問での答弁の中で、出馬表明については、「（令和2年）9月ぐらいが判断の時期になるのか。」という（発言）に変わりはないですか。

市 長：やるべきこと、やらなければいけないこと、第1優先は今申し上げたようなことです。それをしっかりやった上で、その頃になったら「どうするのか。」と

というのは、それは市民の皆さんとか、進捗状況とか、あるいは様々な情勢を鑑みて、それぐらいの時期に判断する話です。